

花づくりからまちづくりへ 夢は「花街道」



「夏花好クラブ」代表 森村常夫さん
豊岡市

豊岡市日高町夏栗の道路沿いに、
思わず立ち止まり、じろくり眺めた
くなるような庭があります。

丁寧にせん定された木々、門から
玄関までまっすぐに延びるフラワー
ロード、自慢の盆栽コーナー。夏花
好クラブ会長の森村常夫さんの自宅
です。

定年後は故郷に戻り、花と緑に囲
まれた生活を送ることが森村さんの
夢でした。こうと決めたことは徹底
する性格で、西宮市で勤務している
頃から但馬の風土にあった花づくり
を独自に研究したそうです。

コソコソと庭造りを始め、3年後に
は盆栽と花の鉢植が1200鉢、花

のプランターも150基を越え、近
所でも有名な花庭園に。評判を聞いた
旧日高町から町の花づくりに協力
してほしいという依頼がきました。

「14歳の時に離れた故郷で、町の
人たちが温かく迎えてくれたことが
本当にうれしくて。少しでも町の役
にたてればと思い引き受けました」
ボランティア仲間とゼロからスター
トした苗作り。盆も正月も休まず、
毎日2時間花の基地に通ったそう
です。

「花づくりは子育てと同じ。毎日
目をかけてやるのが大切です」と、
森村さん。

独自の土づくりで育てた苗は、強
い」と好評で、
イベントには
たくさんの人
が訪れるよう
になり、町内
外からの園芸
相談が後を絶
えません。

何年も咲か
なかつた花が
咲くようにな



平成4年から花好クラブ会員の自宅前にそれぞれプランターを設置。道路の
両脇が150メートルにわたって花で彩られる。

つた、枯れかけた盆栽が元気になっ
たなど、良い報告を聞くのがうれし
い」と森村さん。自らの研究成果を
相談者に丁寧に説明してくれます。

地区の有志でつくった花好クラブ
でも、花街道をテーマに、バス道沿
いに300基のプランターを設置し
て世話するなど、町と協力して、花
いっぱい運動」に取り組んできまし
た。心なごむ風景に影響を受け、地
区では家の前を花で飾る人も増え
たそうです。

積極的な地域づくりの活動が評
価され、森村さんは平成9年に、み
どりの愛護功労者・建設大臣表彰」
を受賞しました。現在も美しい町づ

くりのムードを但馬全
体に広げていこうと活
動されています。
「花づくりを通して、
大勢の人と交流ができ
たことは大きな喜びで
す。第二の人生、花街道
の普及に向けてまだま
だ励んでいきたいです」
と、生き生きと語って
くれました。

現在は、豊岡市日高花の基地公園」

写真やイラストなどの
フルカラー印刷サービスに
対応。各種印刷物に対応する
最新のデジタル印刷技術を採用しています。

街を彩る。

伝えたいイメージを的確に伝える多彩な演出。
今、街がメディアに変わる。

【施工例】

- ポスター
- 看板
- 駅前広場マップ
- 駅前マップ
- 駅前コンスタント

【岩見印刷株式会社】
【本社・伊豆メディアテクノロジー】
兵庫県豊岡市日高町土庫07-1 TEL.0796-48-1500 09
【ホームページ】http://www.heart-itsuka.co.jp
【e-mail】info@heart-itsuka.co.jp

【豊岡支店】TEL.0796-29-4662 09
【姫路支店】TEL.079-261-9866
【東京支店】TEL.03-5427-7683

ひんやり涼しい地下世界

昭和の鉱山へタイムスリップ！

坑道探検のすすめ

1年を通して坑内の気温は12度前後。中に入った途端、湿気を帯びた冷たい空気が体を包む。薄暗い坑内で目に飛び込んでくるのは、むき出しの岩壁とまだ生きている鉱脈。レールは奥へ奥へと延びる。鉱石を乗せたトロッコ電車を追うように、探検は始まる。

養父市大屋町の明延鉱山跡では、

鉱山学習の一環として、現存する坑道650メートルを見学することができる。

飛鳥時代にはすでに開山していたと伝えられる明延鉱山は、奈良東大寺の大仏鑄造の際にも多量の銅を献上したそうだ。

明治42年、新たに錫の鉱脈が発見され、その産出量は国内の9割を占めるまでに発展。価格の下落や海外からの輸入に押され、国内の大規模な鉱山が次々と閉山していく中でも、明延は、日本一の錫の鉱山として栄え、全国から鉱山夫が集まって来たという。

「当時の坑道は全長550キロメートル。東京〜大阪間を結ぶほどの距離があったんです」と、指導員の高田さん。千年以上の歴史の中で無尽に延びていった坑道は、驚愕の地底世界を築き上げていた。今はそのほとんどが地下水や土で埋もれ、残された650メートルは大切に管理されている。



坑内には、当時使用されていた器具や電車がそのままの姿で残っている。ケージエレベーターは、地下400メートル以上も行き来したという近代的な代物。ひょうこりと鉱山夫が現れ、仕事を始めそうな気がする。

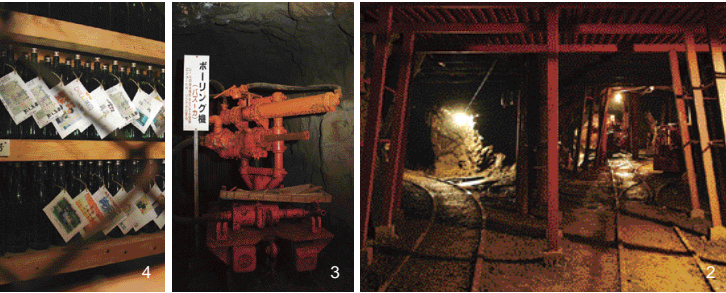
昭和62年、遂に閉山を迎えた明延鉱山だが、今でも大量の鉱脈が残っているという。探検では、探掘されていた鉱脈を間近に見ることもできる。地上では想像もできない貴重な別世界へ、足を踏み入れてみよう。夏でも長袖の上着をお忘れなく！

探検坑道入坑料

事前予約が必要です。

- 入坑料
小・中学生 210円
高校生・一般 420円
- 指導員案内料
(見学には指導員の同行が必要です)
指導員1人につき2,100円
*5名様以上でお申し込み下さい。

養父市立あけのべ自然学校
TEL 079-668-0258



1. 鉱脈は採取しやすいよう、上へ上へと掘られていく。30メートル間隔に掘り進められた跡が残っている。2. 坑道内の通路はいくつかに分かれている。3. レールに乗って掘削し、鉱脈を探索するボーリング機。4. 常温に保たれた坑内の一角を酒蔵として利用。秋には純米吟醸酒「仙櫻」が醸出しされる。